

逗子市消防本部高規格救急自動車仕様書

1 総 則

令和8年度に逗子市が購入する高規格救急自動車は災害対応特殊救急自動車とし、複雑かつ多様化している近年の救急業務に対処し得る資機材を装備するとともに、救急救命士等が行う高度な救命処置のための資機材を積載し、傷病者を医療機関まで安静に搬送できる構造とする。また、諸構造は堅牢で耐久性に富むもので、公害対策として低公害車（平成17年基準排出ガス50%低減レベルに適合）の指定を受けた車種とすること。

2 法令適合

消防防災設備整備費補助金交付要綱（平成14年消防消第70号）及び救急業務実施基準（昭和39年自消甲教発第6号）に該当するものであって、国が行う補助の対象となる緊急消防援助隊の施設の基準額（平成16年総務省告示第281号）、緊急消防援助隊設備整備費補助金交付要綱（平成18年消防消第49号）に規定される災害対応特殊救急自動車の規格要件を上まわるもので、道路運送車両法（昭和26年法律第185号）及び道路運送車両の保安基準（昭和26年運輸省令第67号）に適合し、緊急自動車として承認が得られるものであること。

また、葉機法（昭和35年法律第145号）第24条及び同法第39条に定める事項に十分に留意すること。

3 提出書類

(1) 契約時

製作に先立ち、無償で次の書類を速やかに提出するものとする。

| | |
|--------------------------|-----|
| ア 承認図書（逗子市消防本部の承認を得ること。） | 各3部 |
| (ア) 艀装外観図 | |
| (イ) 患者室内艀装レイアウト図 | |
| (ウ) 消費電力計算表 | |
| (エ) 特装電気配線図 | |
| (オ) 製作工程表 | |
| イ その他必要図書 | 必要数 |

(2) 納入時

完成納入時、無償で次の書類を提出するものとする。

| | |
|------------------------|----|
| ア 艀装外観完成図 | 2部 |
| イ 取扱説明書 | 2部 |
| ウ 自動車整備解説書 | 1部 |
| エ 製作工程別記録写真集 | 1部 |
| オ 車両完成後の外観（前後左右）カラー写真集 | 5部 |
| カ その他必要図書 | 2部 |

※過度な枚数の際は、データでの提出も可能とする。

4 検査及び保証等

検査は、中間、完成の各検査及び検収とする。

- (1) 中間検査は、製作工程表に基づき随時実施する。（部品検査含む）
- (2) 完成検査は、本仕様に基づき艀装全般、走行、その他の検査を実施する。
- (3) 検収は、本仕様書及び承認図書に基づき総合的な検収を実施する。

- (4) 保証期間は、納入後1年とする。ただし、保証期間が1年以上有する場合はこの限りではない。
また、期間経過後であっても設計、製作、材質等の不良に起因した不具合については、受注者において無償にて修復すること。

5 その他

- (1) 製作に当たり、疑義が生じたときは、直ちに消防本部と協議のうえ、適正を図ること。
(2) 製作に当たって、各工程ごとに多角的角度から写真撮影を行うこと。
(3) 取付品等は、軽量化されたものを採用し、モデルチェンジ等があった場合は、最新で同等以上の機能を有するものを使用すること。
(4) 第1回目の新車及び6ヶ月点検時に車両の回送を無償で行い、エンジンオイル、デフオイル及びエレメントの交換も無償にて行うこと。
(5) 車両納入後、消防用車両の安全基準に従い、受注者が逗子市消防本部へ納車講習、安全操作技能講習及び点検整備講習を行うこと。また、講習指導員に係る費用は受注者が負担すること。(実施日及び実施回数は、別途指示するものとする。)
(6) 車両登録、現行車両の抹消登録及び廃棄並びに緊急自動車使用届出確認書の返納を行うこと。(手続きに係る費用は、発注者が負担し別途請求する。また、抹消登録及び廃棄する車両は、発注者が別途指示するものとする。)

6 仕様明細

別添仕様明細書のとおり。

7 納 車

逗子市消防本部 逗子市桜山2丁目3番31号

8 配 置

逗子市消防署 小坪分署 逗子市小坪5丁目21番4号

9 納入期限

令和 9年 3月 31日 (水)

仕様明細書

1 シャシー関係

| 項目 | 仕様 |
|---------|--|
| シャシー | 高規格救急自動車シャシー |
| エンジン | ガソリンエンジン |
| ミッション | オートマチックトランスミッション |
| 駆動方式 | 4輪駆動方式 |
| 寸法 | <ol style="list-style-type: none"> 1 全長 5,650mm 以下 2 全幅 1,900mm 以下 3 全高 2,500mm 以下 4 室内容積 救急救命士等が適切な応急処置を実施するのに必要な活動スペースを確保すること。 |
| 乗車定員 | 7名以上 |
| オルタネーター | 最大消費電力を計算し、必要な発電量を有すること。 |
| バッテリー | 必要な容量を有すること。 |
| 空調機器 | 標準型（フロント・リア） |
| 寒冷地仕様 | 寒冷地仕様とすること。 |
| その他 | <ol style="list-style-type: none"> 1 時計（デジタル式・運転席）を取り付けること。 2 AM/FM ラジオ・テレビレス SD ナビゲーション（SD 容量 16GB 以上、バックモニター兼ねる）を取り付けること。（バックアイカメラ含む。） （随時、ナビゲーション操作等が可能とすること。） 3 ドアバイザーを必要数取り付けること。 4 ドアエッジモールを必要数取り付けること。 5 後退警報器（音声スイッチ式）を取り付けること。 6 スタッドレスタイヤ4本（ホイール付）を有すること。 7 非金属製タイヤチェーン（前後輪分）を有すること。 8 マッドガードを必要数取り付けること。 9 車両付属品一式を有すること。 （フロアマット、ドライバー、プライヤー、スパナ、モンキースパナ） 10 助手席及び運転席用インナーミラーを取り付けること。 11 カーナビ連動の ETC 車載器を取り付けること。（セットアップ含む。） 12 LED ヘッドライト及びポジションランプを取り付けること。 13 ドライブレコーダーを取り付けること。 14 デジタルインナーミラーを取り付けること。 15 盗難防止装置を取り付けること。 16 救急車適正利用啓発マグネットシート式表示板を必要数用意すること。（サイズ、枚数、フォント等は別途指示） |

2 艀装関係

※ 仕様文中の網掛けした資機材にあつては高度救命処置用資機材納入業者からの支給品とし、この資機材の取り付けとは、ブラケット、配管、加工等、資機材の取り付けに必要なものすべてを含む。

| 項 目 | 仕 様 |
|--------------------------|--|
| 艀装メーカー 型 式 灯 火 装 置 | 高規格救急自動車可能メーカー 高規格救急自動車 1 車体と一体となるような赤色警光灯及び補助警光灯（LED タイプ）を屋根前面及び後部に取り付けること。また、活動状況に応じて赤色警光灯の点滅が変化すること。（詳細は別途指示） 2 フロントバンパー左右、側面及びルーフサイドに赤色点滅灯（LED タイプ）を取り付け、赤色警光灯と連動させること。 3 車両後輪（左右）付近を照射する路肩灯（LED タイプ）を取り付けること。 4 ルーフサイドに台座を設け車両周囲作業灯（LED タイプ左右各2個）を取り付けること。 5 電気配線等、車体を貫通する部位には、ゴムブッシュ等を取り付け、漏水及び腐食防止対策を施すこと。 |
| 装 備 関 係 | 1 車両前面の中央部に消防章（150mm）を取り付けること。 2 左側Bピラーに旗立てを取り付けること。（訓練旗含む。） 3 フロントドア上部のルーフサイド左右にフラッシュランプを取り付けること。 4 フロント下部にマーカールンプ（LED タイプ）を取り付けること。 5 フロントアンダーミラー及びアウトサイドミラーを取り付けること。 6 車両外部右側側面の収納スペースに、レスキューセットを取り付けられる金具等を設けること。（レスキューツール5点を更新車両から載せ替える。位置、サイズ等は別途指示。） 7 バックドアは、跳ね上げ式とし、適当な位置にドア用セーフティーライト（LED タイプ）を取り付け、機械的に閉鎖する構造とすること。 8 バックドア開口部左に長タイプアシストグリップを取り付けること。 9 サイレンアンプをインストルメントパネルの適当な位置に設けるとともに、フレキシブルマイクを運転席の適当な位置に取り付けること。 10 運転席周辺の適当な位置に書類箱（A3サイズ・ポケット付）及び地図入れ（A3サイズ・レイアウト別途指示）を設けること。 11 運転席の適当な位置にヘルメット用フック2個を取り付けること。 12 運転席の天井にグローブボックス及びルーフネット2個を取り付けること。 13 助手席側の適当な位置にマップランプ（LED タイプ）及びLED灯を取り付けること。 14 助手席後部にパーティションボードを取り付け、上段収納庫及び下段収納庫（扉なし・固定ベルト付）を取り付けること。 15 助手席の適当な位置にヘルメット用フック1個を取り付けること。 16 運転席と患者室との間に隔壁扉（一枚扉）を設けること。 17 運転席後部に縦型収納庫（三段棚）を取り付けること。 |

- 18 患者室の大型蛍光灯及び患者灯に照度調整機能を取り付けること。
- 19 患者室の適当な位置にスマートフォンを置くことができるスペースを設けること。
- 20 患者室内の天井にアシストグリップ、ルーフネット及びC型バネ付フックを適当な位置に必要な数取り付けること。
- 21 スクープストレッチャー及びバックボードを患者室の出し入れ容易な位置に取り付けられる構造とすること。
- 22 輸液ビンホルダーを患者室天井及び患者室右側の適当な位置に2箇所取り付けること。
- 23 患者室右側の適当な位置に定置型吸引器を取り付けられる構造とし、吸引ポンプを取り付けること。(吸引カテーテル保持パイプ付)
- 24 患者室の適当な位置に、タオル掛けを取り付けること。
- 25 患者室右側の適当な位置に半自動式除細動器、患者モニター、人工呼吸器及びアネロイド血圧計を取り付けられる構造とすること。
- 26 患者室右側の適当な位置に非接触型静脈可視化装置ハンズフリーキットの台座を取り付けること。
- 27 患者室右側の適当な位置にドクター席を設けること。
- 28 患者室右側の適当な位置に電波時計、C型バネ付フック5個を取り付けること。(各サイズ等別途指示)
- 29 患者室右側にルーフサイド収納庫(車両前方鍵付及びアシストグリップ付)及び酸素マスク収納庫(車両後方・アシストグリップ付)を取り付けること。
- 30 患者室右側の適当な位置に加湿流量計(0X-III S・10L酸素ボンベ(2本)含む。)を取り付けること。高圧ガス容器所有者登録を行い、ボンベには刻印を行うこと。(詳細は別途指示)
- 31 患者室右後方側に3段収納棚(大型)及び大型収納庫(上段は開放時に処置トレイとなる・下段はスライド式扉タイプ)を取り付けること。
- 32 患者室側面上部の適当な位置にホワイトボード(A4サイズ)を取り付けること。
- 33 患者室窓部は、透明からくもりに切り替え可能なものにする。
- 34 メインストレッチャーはエクステンジストレッチャー(FERNO製)とすること。
- 35 患者室内の適当な位置に、AC100Vコンセント(正弦波インバーター/外部商用電源自動切替機能付)を必要数取り付けること。
- 36 患者室左側の座席はハイバックシートを取り付けること。
- 37 患者室左側にルーフサイド収納庫(車両前方側及び車両後方側鍵なし・内部仕切り棚付き)を取り付けること。
- 38 患者室内の全ての座席にシートベルトを取り付けること。
- 39 患者室内の適当な位置に携帯用電動吸引器を収納できる構造とすること。(酸素ボンベ収納庫上レール取付含む。)
- 40 患者室内の適当な位置にパソコン若しくはタブレット等を置くことができるスペースを設けること。

| | |
|--------------|---|
| <p>塗 装</p> | <p>41 患者室内の引出し内に緩衝材を敷くこと。</p> <p>42 フロントタイヤハウス上部及びリアステップに乗降時の滑り止めを取り付けること。</p> <p>43 資機材の接触により傷、破損のおそれがある箇所にはステンレス製保護板等を取り付けること。 (メインストレッチャーの接触する箇所には、ステンレス製保護板及び緩衝材等を取り付けること。)</p> <p>44 リアバンパーに傷つき防止板を取り付けること。</p> <p>45 車両標準装備品を各部に取り付けること。</p> <p>車両の塗装は、特殊化学液にて十分な錆落としのうえ、燐酸塩皮膜を形成後プライヤーパテで水研ぎ後サフェーサー処理を行い、熱風乾燥炉で十分乾燥後白色ハイソリッドラッカーを4回以上塗装、再び熱風乾燥炉にて十分乾燥させること。</p> <p>1 車体側面左右及びバックドアに「逗子市消防署」、「ZUSHI FIRE DEPT. 119」と青色で標示すること。(再帰性に富んだ反射材とすること。)</p> <p>2 車体前後左右に「小坪」と青色で標示すること。</p> <p>3 車体側面左右及びバックドア上部中央に本市が指定するロゴマークを標示すること。</p> <p>4 補助金充当先を記入すること。(詳細は別途指示)</p> <p>5 各種字体は、丸ゴシック体とし、貼り文字とすること。 (サイズ、色、レイアウト等は別途指示)</p> <p>6 車両全周に、50～76mmの幅で赤色のサイドラインを貼付すること。 (車両前面を除いた部分は、再帰性に富んだ反射材にすること。)</p> <p>7 車体屋根部に「神奈川救急」と青色で記入すること。(二段書)</p> |
| <p>無線装置</p> | <p>1 消防救急デジタル無線関係の電源を確保すること。</p> <p>2 消防救急デジタル無線用アンテナ(ダイバーシティ方式のため、2本を1.2m以上離して設置)を取り付けること。無線用アンテナ等は、現行車両から載せ替えを行うこと。</p> <p>3 消防救急デジタル無線関係一式(AVM含む。)を、助手席側からの操作が容易な場所に取り付けること。 また、取り付けに要する加工等も受注者がすべて行うこと。 (無線機本体及びAVM装置は現行車両から載せ替える。)</p> <p>4 患者室前面上部に無線機用モニタースピーカー(ON/OFF切替え付)を取り付けること。</p> <p>5 無線機用電源は、バッテリーから無線機まで配線し、中継端子を取り付け、十分な雑音防止処置を施すこと。 また、必要な箇所にヒューズを取り付けること。</p> <p>6 患者室の適当な位置に送受信器及び車外設定端末装置を取り付けること。</p> <p>7 配線等については消防救急デジタル無線整備工事施工業者と協議すること。 電気配線等は車両の振動を考慮し、断線防止の処置を施すこと。</p> |
| <p>装備品関係</p> | <p>別表のとおり。</p> |

別表（装備品関係）

| 品名 | 数量 | 備考 |
|---------------|-----|---|
| 前部赤色警光灯 | 一 式 | 散光式（LED タイプ） 可変ビーコン |
| 後部赤色警光灯 | 一 式 | 散光式・補助警光灯（LED タイプ） 可変ビーコン |
| 赤色点滅灯 | 2 | フロントバンパー上部（LED タイプ） |
| | 2 | フロントバンパー側面（LED タイプ） |
| | 4 | ルーフサイド前後（LED タイプ） |
| 路肩灯 | 一 式 | 左右後輪付近（LED タイプ） |
| 車両周囲作業灯 | 4 | 左右各2（LED タイプ） |
| 消防章 | 1 | 150mm |
| 旗立 | 1 | ステンレス製、訓練旗含む（白地に赤文字） |
| フラッシャーランプ | 2 | |
| フロントアンダーミラー | 1 | |
| アウトサイドミラー | 1 | |
| デジタルインナーミラー | 1 | アラウンドビューモニター |
| コーナーセンサー | 一 式 | |
| ドア用セーフティーライト | 1 | バックドア（LED タイプ） |
| サイレンアンプ | 一 式 | 電子サイレンアンプ、ステアリングスイッチ付、サイレンフェード機能・住宅地モード機能付・音声合成タイプ（音声は別途指示）・スピーカー含む |
| 車両後方確認テレビシステム | 一 式 | SD ナビゲーションシステム（バックアイカメラ含む） |
| ETC 車載器 | 1 | |
| ドライブレコーダー | 一 式 | 常時録画タイプ（記録媒体 SD カード・専用ソフト不要で再生可能なもの） |
| フレキシブルマイク | 1 | |
| マップランプ | 1 | フレキシブルタイプ（LED タイプ） |
| 電流計・電圧計 | 一 式 | |
| 隔壁扉 | 一 式 | 一枚扉 |
| 書類箱 | 1 | A 3 サイズの地図が収納可能な大きさ（蓋、ポケット付） |
| 携帯電話（NTT ドコモ） | 一 式 | 電話本体（スマートフォン、アクセサリ等） |
| 加湿流量計 | 一 式 | OX-III S |
| ハイバックシート | 1 | 三点式シートベルト付 |
| 大型蛍光灯 | 一 式 | 照度調整式 |
| 患者灯 | 一 式 | 照度調整式 |
| ルーフネット | 一 式 | 各部 |
| 収納庫等 | 一 式 | 各部 |
| アシストグリップ | 一 式 | 必要数 |
| 輸液ビンホルダー | 2 | |
| タオル掛け | 1 | |

| | | |
|-----------------------------|-----|--|
| ティッシュ/グローブボックス | 3 | マグネット式 |
| ドクター席 | 1 | 標準型 |
| 患者室時計 | 1 | デジタル電波時計 |
| フック | 1 | C型バネ付フック ヘルメット用フック |
| デジタルカメラ | 一 式 | リコー (WG-70) |
| 地図 | 一 式 | ゼンリン地図 (逗子市・葉山町) |
| ホワイトボード | 一 式 | A3サイズ (ペン・イレーザー・ホルダー付) |
| | 1 | A4サイズ |
| メインストレッチャー | 一 式 | エクステンジストレッチャー 付属品含む |
| 正弦波インバーター | 一 式 | 300W50Hz (外部商用電源自動切替機能付) |
| コンセント | 一 式 | |
| 全自動電子バッテリー管理機 | 一 式 | リアバンパー左側 |
| 冷温蔵庫 | 1 | |
| ダストボックス | 一 式 | 標準型 |
| 車輪止め | 1 | ゴム製車輪止め |
| 消火器 | 一 式 | 標準型 (5型) |
| スペアキー | 1 | |
| マイナ救急タブレット | 一 式 | タブレット端末本体 ハンドストラップ一式 カードリーダー 物理キー (YubiKey) 充電器 |
| 署活系無線機一式 | 5 | SR920U1 (付属品、無線局免許申請代含む) |
| ※ スクープストレッチャー | 一 式 | |
| ※ 携帯用電動吸引器 | 一 式 | |
| ※ 定置型吸引器 | 1 | PSP-80 |
| 吸引カテーテル保持パイプ | 一 式 | |
| 吸引ポンプ | 1 | |
| ※ 半自動式除細動器 | 一 式 | TEC-2603 |
| 半自動式除細動器マウント | 1 | TEC-2603 用 |
| プリンター固定装置 | 一 式 | TEC-2603 用 |
| ※ 患者モニター | 一 式 | BSM-3562 ベッドサイドモニター |
| 患者モニターマウント | 1 | BSM-3562 用 |
| ※ 人工呼吸器 | 一 式 | メデュマットイージー |
| ※ アネロイド血圧計 | 一 式 | |
| ※ ハイテクバックボード | | |
| ※ エアーウェイ | 各1 | バーマン氏 (小) バーマン氏 (中) バーマン氏 (大) 経鼻エアーウェイ サイズ6、7、8、9mm (各10本入) |
| ※印は、高度救命処置用資機材納入業者から購入の資機材。 | | |